

U.S. Indicators

発表日: 2018年10月15日(月)

米国 18年10月NY連銀製造業景気指数

～貿易戦争の本格化、一部新興国の混乱でも景気指数は高水準を維持～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治(Tel:03-5221-5001)

NY連銀製造業景気指数の推移

	総合	新規受注	出荷	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	販売価格	週平均就業時間
17/10	28.1	21.0	26.4	18.1	▲ 7.80	3.1	2.3	27.3	7.0	3.2
17/11	20.9	21.3	19.2	18.2	4.6	▲ 2.30	▲ 4.60	24.6	9.2	8.5
17/12	19.6	19.0	23.5	22.9	1.4	4.3	▲ 8.70	29.7	11.6	9.3
18/01	17.7	11.9	14.4	3.8	13.8	3.6	4.3	36.2	21.7	0.8
18/02	13.1	13.5	12.5	10.9	4.9	11.1	4.9	48.6	21.5	4.6
18/03	22.5	16.8	27.0	9.4	5.6	16.2	12.7	50.3	22.4	5.9
18/04	15.8	9.0	17.5	6.0	8.1	15.6	3.7	47.4	20.7	16.9
18/05	20.1	16.0	19.1	8.7	10.1	13.7	5.0	54.0	23.0	11.1
18/06	25.0	21.3	23.5	19.0	5.4	13.2	9.3	52.7	23.3	12.0
18/07	22.6	18.2	14.6	17.2	▲ 4.30	6.0	0.0	42.7	22.2	5.6
18/08	25.6	17.1	25.7	13.1	0.0	10.4	11.1	45.2	20.0	8.9
18/09	19.0	16.5	14.3	13.3	8.9	6.5	4.9	46.3	16.3	11.5
18/10	21.1	22.5	26.3	9.0	0.8	5.0	▲ 8.4	42.0	14.3	0.2

NY連銀製造業景気指数(6ヵ月先予測)の推移

	総合	新規受注	出荷	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	販売価格	週平均就業時間	設備投資
17/10	44.9	44.6	43.5	21.4	9.4	▲ 0.80	6.3	41.4	25.0	4.7	21.9
17/11	49.8	52.5	50.3	20.7	8.5	5.4	14.6	48.5	23.8	6.9	25.4
17/12	46.3	42.7	43.2	24.0	5.8	6.5	14.5	50.0	27.5	6.5	34.1
18/01	48.6	47.6	46.3	26.9	20.3	10.9	18.1	52.9	31.2	16.7	34.8
18/02	50.5	47.2	46.7	19.5	9.0	15.3	16.7	52.1	25.7	20.8	31.9
18/03	44.1	43.0	43.3	23.3	12.0	5.6	7.0	55.9	28.0	14.7	29.4
18/04	18.3	18.5	18.5	13.1	8.1	▲ 0.70	2.2	54.8	31.1	3.7	25.2
18/05	31.1	33.7	36.5	20.8	8.6	3.6	▲ 2.20	54.0	29.5	4.3	29.5
18/06	38.9	33.4	40.7	25.9	10.1	5.4	7.8	51.2	27.1	1.6	27.1
18/07	31.1	37.2	33.5	24.2	14.5	1.7	6.0	48.7	28.2	4.3	17.1
18/08	34.8	36.0	37.7	18.0	5.9	▲ 5.2	▲ 3.7	53.3	26.7	0.0	26.7
18/09	30.3	33.3	35.2	14.7	0.8	▲ 4.9	▲ 4.9	56.1	30.9	▲ 1.6	19.5
18/10	29.0	35.1	33.8	13.0	▲ 5.9	▲ 5.9	1.7	52.9	23.5	2.5	16.0

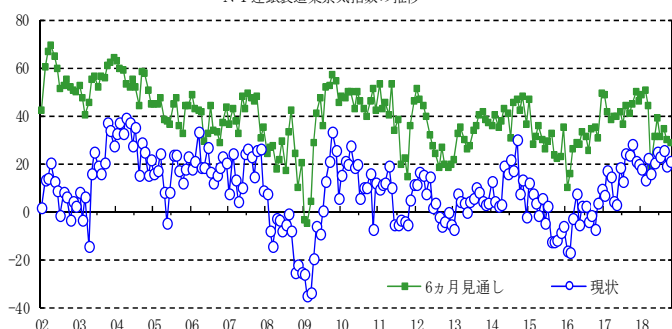
18年10月のNY連銀製造業景気指数(NY連銀管轄地区の製造業の動向を示す)は21.1と2.1%p上昇し市場予想の20.0を上回り、高い水準を維持した。大部分の鉄鋼・アルミニウム輸入への関税賦課や、米中間の貿易への関税賦課など貿易戦争の本格化、一部の新興国からの資金流出による悪影響が懸念される中で、NY連銀管轄地区の製造業は10月も堅調さを維持していることが示された。

在庫、雇用が低下した一方、新規受注、出荷は上昇し、高い水準となった。同地区の製造業は、自動車産業の影響を受けやすい傾向があり、自動車などの出荷が勢いを強めたとみられる。出荷の増加で在庫が低下したうえ、新規受注が上昇し高水準を維持していることから、生産活動の活発化し易い状態を示唆している。

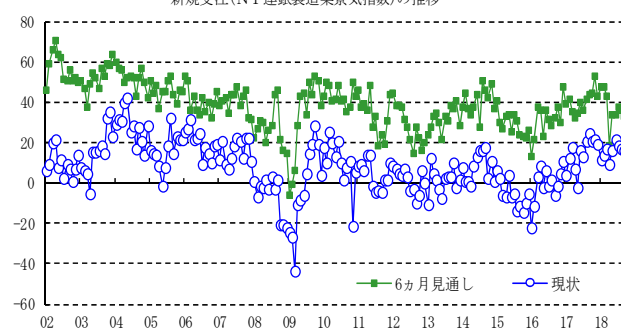
6ヵ月先予測をみても、新規受注、出荷は高い水準を維持し、需要の強さを背景に在庫が減少するほか、ボトルネックの状況を示す入荷遅延は緩和が予想されており、生産活動の活発化が続くことを示唆している。景気指数(6ヶ月先予測、総合)は、在庫、入荷遅延のマイナスなどによってプラス幅を小幅縮小したが、重要な新規受注、出荷に支えられ高い水準を維持している。このように、景況感の高止まりが当面続くことを示しているように、製造業の堅調さが持続すると見込まれる。

一方、設備投資計画は高い水準を維持しているものの、低下傾向を辿っておりNY連銀管轄地区での設備投資の拡大ペース鈍化を示唆している。

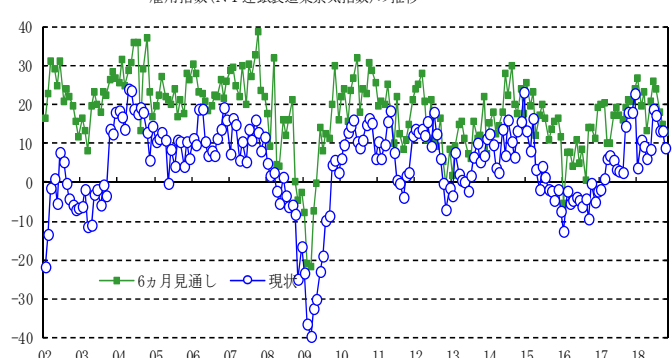
NY連銀製造業景気指数の推移



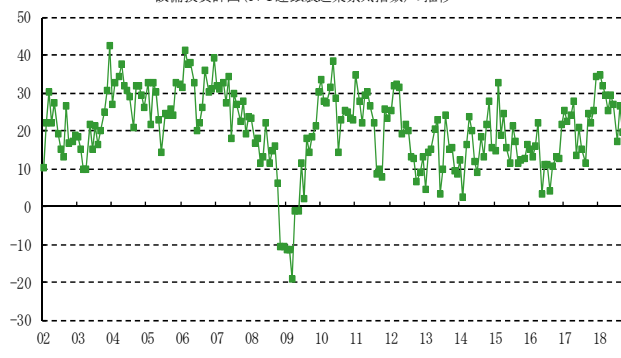
新規受注(NY連銀製造業景気指数)の推移



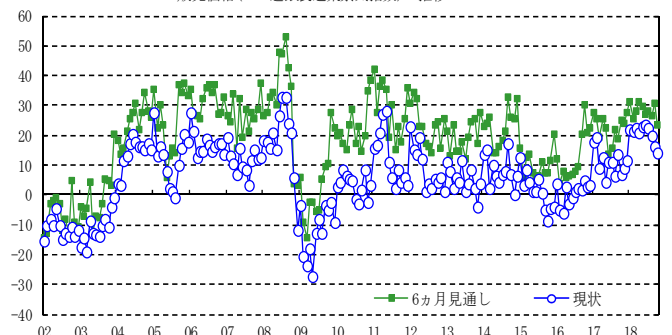
雇用指数(NY連銀製造業景気指数)の推移



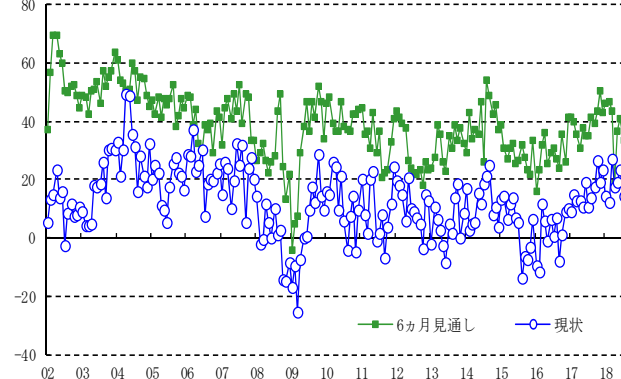
設備投資計画(NY連銀製造業景気指数)の推移



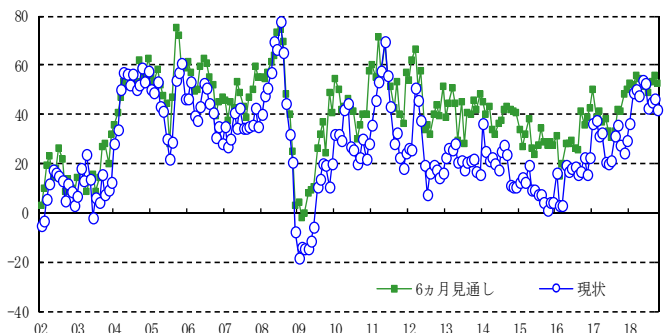
販売価格(NY連銀製造業景気指数)の推移



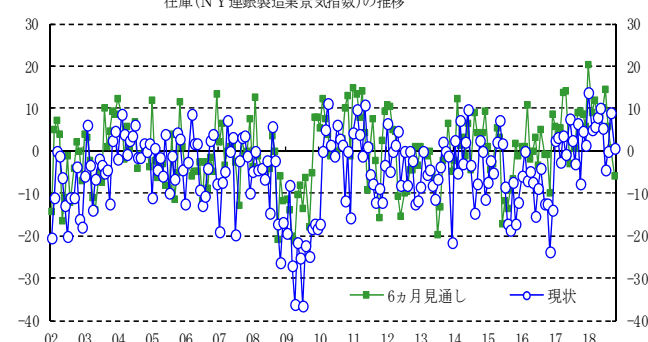
出荷(NY連銀製造業景気指数)の推移



仕入価格(NY連銀製造業景気指数)の推移



在庫(NY連銀製造業景気指数)の推移



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。